

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成28年8月1日
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町	京都府 京都府知事 山田 啓二

環境マネジメントシステムの名称	京都府環境マネジメントシステム
適用範囲	京都府庁の本庁舎及び全公所
導入年月日	平成18年3月31日
認証番号	-
基本方針	京都府は、地球温暖化防止に向けて、実行ある施策をさらに推進するとともに、自らも一事業者として、温室効果ガスの削減に率先垂範して取り組む必要がある。エコオフィスの徹底や施設の環境性能の向上等の重点対策に取り組むとともに、環境マネジメントシステムを導入することにより、府の事務・事業に係る温室効果ガス排出削減目標の着実な達成を図る。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	府庁の温室効果ガス排出量を、平成29年度までに平成23年度比で14%削減することを目標として、毎年度、共通目標を設定。 平成28年度共通目標 ①温室効果ガスの削減 ②廃棄物量の削減 ③コピー用紙購入枚数の削減(対前年度比5%削減)
目標を達成するための取組の内容	①温室効果ガスの削減 電気使用量の削減、庁舎の燃料使用量の削減、 公用車等の燃料使用量の削減、水道水使用量の削減 ②廃棄物量の削減 リサイクルの推進、廃棄物の減量化、物品の長期使用 ③コピー用紙購入枚数の削減(対前年度比5%削減) 用紙類使用量の削減 特に重点的に取り組む内容(重点目標)として、以下の4項目を設定 ・昼休み時間中の全部消灯の徹底 ・残業時の部分消灯の徹底 ・冷暖房温度の適温管理に対応した能率的な服装の励行 ・ペーパーレス化の徹底
目標を達成するための取組の進捗状況	各所属のエコオフィス推進員が中心となり、点検表に基づきチェックを行っている。 また、毎年度、内部監査及び外部監査を実施するとともに、その結果を評価しており、外部監査の結果から3つの共通目標は浸透し、各職員が意識を持って行動していることが確認されている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	電気使用量及び可燃物排出量は順調に削減できているが、コピー用紙購入枚数は増加傾向にあり、両面コピー利用率も低調であることから、さらに取組を強化する必要がある。
事業活動に係る法令の遵守の状況	外部監査の結果、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づく、簡易点検が実施されていない所属があったため、制度の周知を徹底する等、再発防止に取り組んだ。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	平成23年度以降、節電の必要性が高まったことから、エコオフィス活動の一層の徹底を行うとともに、夏季・冬季には節電の取組も実施している。 平成28年度は、外部環境監査員からの意見を受けて、各所属が設定した目標・チェックポイントの達成状況・実施状況を把握することに努めるよう共通目標を修正した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。